

令和8年度

公益財団法人おかや文化振興事業団
公益目的事業の種類及び内容並びに収益事業の内容/
事業計画書

公益財団法人おかや文化振興事業団

令和8年度 公益目的事業の種類及び内容並びに収益事業等の内容

1 公益目的事業

(1) 事業の種類

事業番号	事業の内容
公 1	文化及び芸術の振興を目的とする事業
公 2	地域の国際化に対応するための広報、相談及び在住外国人生活支援並びに国際交流に関する啓発、研修、親善活動の一層の充実を図り、よりよい多文化共生社会の構築に寄与する事業

(2) 事業の概要

公 1	文化及び芸術の振興を目的とする事業
	<p>地域の文化芸術の発展と向上に寄与し、もって心豊かな潤いのある社会の実現に貢献するために以下の事業を行います。</p> <p>岡谷市文化会館(カノラホール)</p> <p>『独自企画事業』では、既成の舞台芸術にとられない独自の企画による上質なコンサート等を提供し、芸術文化に対する視野の拡大を図るとともに、おかや音楽協会等の市民団体などと協働し、市民参加により世代間交流を図りながら地域固有の題材を取り入れるなどした独創的な舞台芸術を創り上げる創造的な事業も行うことで、地域文化のレベルアップを図ります。</p> <p>『主催公演事業』では、多岐にわたる住民ニーズに対応した幅広いジャンルの上質な公演を主催し、地域の期待に応えるとともに、より多くの住民の芸術文化に対する関心を高めることで、地域全体の文化力の底上げを図ります。</p> <p>『施設管理運営事業』では、住民による能動的な文化活動の場、優れた舞台芸術の鑑賞の場に相応しい施設環境を維持し、前記「独自企画事業」及び「主催公演事業」の安定的な実施を図るとともに、公益目的(文化及び芸術の振興)の主催者に貸与することで、「独自企画事業」ならびに「主催公演事業」と合わせて、地域における文化芸術の振興を多角的かつ効率的に推進します。また、当事業によって得られる人脈やノウハウを活かし、「独自企画事業」や「主催公演事業」へと展開するスパイラル効果を生み出すことで、各事業の効果を高レベルで持続することを目指します。</p> <p>『育成事業』では、地域の児童生徒が参加する「カノラ少年少女合唱団」やアマチュア演奏家から成る「カノラータ・オーケストラ」の継続的で活発な活動を支援することで、地域文化の担い手(鑑賞者、指導者、実演者等)を育成し、文化芸術の振興が将来にわたり継続していくことを目指します。</p> <p>イルフ童画館</p> <p>岡谷市より指定管理を受け、地域の芸術文化振興、芸術の普及を目的に、収蔵している岡谷市出身の童画家 武井武雄の作品、アメリカのイラストレータ モーリス・センダックの作品のコレクション展示及び国内外の童画、絵本作家等の企画展示を開催します。不特定多数の者に芸術に触れる機会を提供するとともに、作品の蒐集、研究により武井武雄や日本の童画文化を検証します。その他、各種講座やワークショップ、日本童画大賞の開催により、芸術の普及に努めます。</p> <p>岡谷美術考古館</p> <p>岡谷市より指定管理を受け、収蔵されている郷土に関係の深い作家の芸術作品や市内で出土した考古資料の展示の企画立案、ワークショップや学校施設との連携した事業など講座の開催、作家の調査研究を行い、市が掲げている文化を核にしたまちづくりを支援します。</p>

公 2	地域の国際化に対応するための広報、相談及び在住外国人生活支援並びに国際交流に関する啓発、研修、親善活動の一層の充実を図り、よりよい多文化共生社会の構築に寄与する事業
<p>地域の国際化に伴い、在住外国人も増加し、また定住化も進んでいます。多国籍化も顕著であり、国際結婚も増えています。多文化共生社会の中で発生する様々な問題に対応し、行政情報をはじめ様々な情報を収集し提供をすべく、相談窓口の開設や広報事業を実施します。</p> <p>国内の経済状況の悪化等により母国語学校が閉鎖となり、公立の保育園や小中学校に入学する子ども達も増えてきています。このため、小中学校等に支援員を派遣し、児童生徒の学校生活支援や授業補助等を行います。</p> <p>外国人にとっては、言葉の壁が障がいになっています。また、世界の共通語といえる英語力は日本人にとって、グローバル化に対応するためには必須のものになっています。このため、在住外国人のための日本語教室、日本人のための英語理解教育を行います。</p> <p>これら生活に密着した各種の支援を行うとともに、在住外国人が日本や地域を理解し、また、市民も地域の外国人を理解し融和を図るとともに、互いに住みよい街づくりに資することを目的とします。</p>	

2 収益事業

(1) 事業の種類

事業番号	事業の内容
収 1	収益事業

(2) 事業の概要

収 1	収益事業
<p>岡谷文化会館(カノラホール)</p> <p>(1) 入場券受託販売 岡谷市文化会館を使用して行われるコンサート等の主催者へのサービスとして、希望があればプレイガイドとして入場券の販売を行います。この場合、販売手数料として売り上げの5%を徴収します。</p> <p>(2) ホール等賃貸 公益目的(文化芸術の振興)での使用先行予約以後、ホール等に未使用日がある場合に、公益目的以外の使用に対して使用料を徴収して貸与します。この使用料については、指定管理の委託者である岡谷市へ全額帰属します。</p> <p>(3) 喫茶運営 コンサート等催し物の休憩時などに、来場者の憩いの場、語らいの場として利用できる喫茶室を運営します。</p> <p>イルフ童画館</p> <p>(1) ミュージアムショップ及び喫茶室の運営 ショップでは、イルフ童画館オリジナルグッズや童画、武井武雄関連の書籍をはじめ、企画展に関わる書籍、グッズの販売を行います。 喫茶室では、コーヒー・紅茶等のドリンクや展示に関連する食事メニューを用意し、観覧後の来館者に一層楽しんで頂けるよう運営します。</p> <p>岡谷美術考古館</p> <p>(1) ミュージアムショップの運営 ショップでは、美術考古館オリジナルグッズや書籍の販売を行うほか、飲料の自動販売機を設置し、来館者等のサービス向上を図ります。</p>	

令和8年度 事業計画

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

概要

おかや文化振興事業団は、定款に掲げる「優れた芸術文化の提供、創造、発信及び各種国際交流」に関する事業に取り組み、岡谷市の教育文化の振興と福祉の増進を図るとともに、市の快適なまちづくりに貢献することを目的としています。

令和8年度は、新たな指定管理業務（令和8年度～12年度）のスタート年となります。

カノラホール、イルフ童画館の管理運営においては、利用者の皆様に安全で快適に楽しんでいただくため、施設の更なる充実と発展を図るとともに、これまで当事業団が積み重ねてきた経験と各施設が持つ特徴を十分に活かしながら、引き続き質の高いサービスを提供してまいります。また、新たに管理運営を行う美術考古館においては、これまで岡谷市により培われてきた歴史ある館の運営スタイルを大事にしながら、地域文化を創造する拠点施設として、市民に親しまれる美術考古館の実現を目指してまいります。

カノラホールでは、TAIRIK プロデュース古澤巖の品川カルテット、新日本フィルハーモニー交響楽団、務川慧悟ピアノリサイタルなどのクラシック公演に加え、オペらくご「フィガロの結婚」、上野耕平・三浦一馬・山中惇史トリオリサイタル、アンジェラ・アキツアー公演など、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう各種公演を実施します。また、市民参加による合唱団によりベートーヴェンの「第九」演奏会を開催します。

イルフ童画館では、様々な芸術に挑戦した武井武雄の魅力を「絵雑誌の世界」、「タブローと言葉あそび」、「刊本作品と自然について」など、当館ならではの企画力により展示を行うほか、「刊本作品展」を実施し、武井芸術の素晴らしさを広く発信します。また、童画を色々な角度からアプローチした展示として「ふくざわゆみこ絵本原画展」、「西村敏雄展」、「どいかや絵本原画展」などの企画展を実施します。

美術考古館では、向山伊保江展、長野県立美術館と連携した辰野登恵子展など美術関係の企画展のほか、考古関係では京都大学博物館所蔵の海戸遺跡土器里帰り展示などを企画し、幅広い年齢層の方々が文化・芸術に触れられるよう各種事業を実施します。また、伝統ある小学校児童版画展やアーティスト育成展などを継続して実施します。

国際交流センターでは、引き続き国際交流員を配置するとともに、在住外国人への生活支援、外国籍児童生徒の学習支援、岡谷市とマウント・プレザント市姉妹都市締結60周年記念事業、中高校生の英語スピーチコンテストなどを実施します。

当事業団は、認定法により公益目的事業については中期的収支均衡が課せられており、令和8年度においては、特定資産を財源不足額に充てる厳しい予算としています。このような中ではありますが、岡谷市の負託に応えるとともに当事業団が将来にわたり安定的な運営を継続できるよう、公益充実資金の積み立てを実施してまいります。

I 公益目的事業

公1 文化及び芸術の振興を目的とする事業

事業内容	実施時期	事業費
岡谷市文化会館（カノラホール）		
ア 独自企画事業		101,996 千円
・カノラ探偵事務所 クラシック探訪Vol. 3	8月22日	アイエの事業
・カノラ・ウィークエンド・コンサート 田中拓也サクソフォンリサイタル	10月 3日	
・新日本フィルハーモニー交響楽団	11月 8日	財源内訳
・第九演奏会	12月13日	市 73,531 千円
・カノラ・ウィークエンド・コンサート トリオ・フィデーリス	1月17日	(受託事業 66,531 千円)
・カノラホール・ソサエティ鑑賞バスツアーほか	未定	(事業補助金 7,000 千円)
		事業収益 26,434 千円
		一般 2,031 千円
イ 主催公演事業		
・0才からのコンサート オペラ「魔笛」	5月 6日	
・TAIRIK プロデュース古澤巖の品川カルテット	6月11日	
・宝くじ文化公演 オペらくご「フィガロの結婚」	6月20日	
・上野耕平・三浦一馬・山中惇史 トリオリサイタル	7月20日	
・アンジェラ・アキ ツアー公演	7月30日	
・上妻宏光×LEO	2月 7日	
・務川慧悟ピアノリサイタル	2月27日	
・LCV・カノラこどものためのコンサート	3月予定	
・グランドロビーコンサート	未定	
ウ 施設管理運営事業		73,895 千円
・独自企画事業の安定的な継続のための施設管理運営	通年	財源内訳
・主催公演事業の安定的な継続のための施設管理運営	通年	市 73,353 千円
・公益目的使用に対する施設・設備の貸し出しのための施設管理運営及び優先貸し出し	通年	一般 542 千円
エ 育成事業		
・カノラータ・オーケストラ 第30回定期演奏会	7月12日	
・カノラ少年少女合唱団定期演奏会	9月27日	
・新日本フィルハーモニー交響楽団 楽器クリニック	11月 8日	
・カノラ少年少女合唱団通常練習	通年	
・カノラータ・オーケストラ通常練習	通年	

事業内容	実施時期	事業費
<p>日本童画美術館（イルフ童画館）</p> <p>オ-1 展示事業</p> <p>◎武井武雄展示 様々な芸術に挑戦した武井武雄の魅力を、当館の研究調査の成果と当館ならではの企画力により発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井武雄 絵雑誌の世界 ・武井武雄 タブローと言葉あそび ・武井武雄 刊本作品と自然について ・武井武雄 大澤コレクション展 ・武井武雄 刊本作品展（全館） <p>◎企画展示 「童画」を色々な角度からアプローチした展示を企画。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくざわゆみこ絵本原画展 ・西村敏雄展 ・どいかや絵本原画展 ・日本童画大賞展 <p>カ-1 調査、研究、資料・作品蒐集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井武雄芸術及び日本の童画文化に関する調査、研究 ・研究の成果を掲載した出版物の発刊 ・武井武雄作品の蒐集。寄贈・寄託の促進 ・収蔵作品目録作成の準備・開始（開館30周年に向けて） <p>キ-1 各種講座開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刊本作品読み語り、ギャラリートークなど武井作品に関する学習会 ・製本、版画、工作、手芸等芸術に関するワークショップ <p>ク 絵本ワークショップ開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本作家育成を目的としたワークショップ <p>ケ 日本童画大賞運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第13回童画大賞参加者を対象に応募された作品へのアドバイス ・第14回童画大賞へ向けての準備 <p>コ 開架図書コーナー運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井武雄刊本作品や資料を活用した開架図書の運営 <p>サ 講演会、コンサート開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武井武雄芸術に関する講演会 ・企画展関連の作家等による講演会 <p>シ 「はらっぱ」展示事業、喫茶運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はらっぱ」小中高生の授業やクラブ等での制作作品展示 ・「カフェラムラム」武井展、企画展に沿った新メニューの開発 	<p>4/9～6/16</p> <p>6/26～9/1</p> <p>9/10～11/16</p> <p>11/21～12/22</p> <p>1/4～2/16</p> <p>4/9～6/16</p> <p>6/26～9/1</p> <p>9/10～11/16</p> <p>11/17～12/22</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>79,898 千円</p> <p>オ～サ事業</p> <p>財源内訳</p> <p>市 77,018 千円</p> <p>雑収益 50 千円</p> <p>一般 2,830 千円</p>

事業内容	実施時期	事業費
<p>岡谷美術考古館</p> <p>オ-2 展示事業</p> <p>◎収蔵作品展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵作品展 1 ・収蔵作品展 2 ・収蔵作品展 3 ・考古常設展示 縄文時代～奈良・平安時代 <p>◎企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向山伊保江展 ・辰野登恵子展（長野県立美術館との連携事業） ・京都大学博物館所蔵 海戸遺跡土器里帰り展示 ・スクモ塚古墳史跡指定55周年記念展 ・岡谷三大城址巡り展（花岡城址、高尾城址、小坂城址） ・コウモリ塚古墳史跡指定60周年記念展 ・みんなのミニチュア作品展 ・岡谷市内小学校児童版画展 ・アーティスト育成展 <p>カ-2 調査、研究、資料・作品蒐集事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術、考古資料に関する調査、研究、保管、貸出 ・作品の蒐集、寄贈・寄託の促進 ・美術、考古の目録整備の推進 ・（仮称）おかや子どもアート大賞の実施検討 <p>キ-2 各種講座開催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術、考古に関するワークショップ ・障がい者サポート施設との連携（ワークショップ等） ・子育てサークル、地域団体（更女、区関係団体等）への出張ワークショップ ・わくわくサマースクール（ワークショップ） ・放課後居場所づくり指導員への美術講習 ・学校現場での版画指導による版画教育の普及 	<p>4月～7月</p> <p>9月～10月</p> <p>10月～12月</p> <p>通年</p> <p>7月～8月</p> <p>1月～3月</p> <p>7月～10月</p> <p>4月～7月</p> <p>10月～12月</p> <p>1月～4月</p> <p>11月～12月</p> <p>1月～2月</p> <p>2月～3月</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>40,590 千円</p> <p>財源内訳</p> <p>市 40,490 千円</p> <p>雑収益 100 千円</p> <p>一般 0 千円</p>

公2 地域の国際化に対応するための広報、相談及び在住外国人生活支援並びに国際交流に関する啓発、研修、親善活動の一層の充実を図り、よりよい多文化共生社会の構築に寄与する事業

事業内容	実施時期	事業費
国際交流センター		
ア 国際理解推進事業		22,460 千円
・国際交流員設置	通年	
・国際交流イベント (イングリッシュピクニック)	5月	財源内訳 市委託料 20,571 千円
(インターナショナルキャンプ)	9月	翻訳料 90 千円
・国際理解講座	9月	受講料 70 千円
・「世界にタッチ英語に触れよう事業」	通年	一般 1,729 千円
・小学校低学年外国語活動事業 (～英語の物語と音楽で学ぼう～)	通年	
・外国からの訪問客の対応	通年	
・行政関係の通訳・翻訳	通年	
・高校生国際推進支援事業	11月	
・子供向けイベント	10月	
イ 外国人生活支援事業		
・日本語教室	通年	
・外国人生活支援見学会	10月	
・行政の外国人対応への支援	通年	
ウ 窓口相談・外国籍就学児童生徒支援員派遣事業		
・相談窓口の設置・通訳・通訳	通年	
・外国籍就学児童生徒支援員派遣 (3ヶ国語) 英語・ブルガリア語・カザフ語	通年	
エ 広報誌の発行等情報発信事業		
・ホームページによる情報発信	通年	
・フェイスブックによる情報発信	通年	
6ヶ国語 (英語・ブルガリア語・中国語・インドネシア語・ベトナム語・日本語)		
オ 国際交流活動事業		
・マウント・プレザント市姉妹都市締結60周年記念事業 (マウント・プレザント市への訪問団派遣事業)	6月	
・姉妹都市生活体験高校生派遣事業	7月・8月	
カ 国際理解共催事業		
・諏訪地域国際交流団体連絡協議会	9月	
・イングリッシュ・サロンの交流員派遣支援	通年	
・各種団体等との支援・協力事業	通年	
キ 英語スピーチコンテスト事業		
・岡谷市英語スピーチコンテスト	12月	
管理事業		
・国際交流センター共通事務費	通年	
・業務全般の管理業務		

II 収益事業等

収1 収益事業

事業内容	実施時期	事業費
岡谷市文化会館（カノラホール） ・喫茶運営 ・ホール等賃貸 ・入場券受託販売	通年	35,906 千円 収入内訳 市 34,833 千円 飲食事業 1,668 千円 雑収益 150 千円 損益 745 千円
日本童画美術館（イルフ童画館） ・ミュージアムショップ ・喫茶運営	通年	11,782 千円 収入内訳 飲食事業 1,800 千円 売店事業 12,000 千円 損益 2,018 千円
岡谷美術考古館 ・ミュージアムショップ	通年	794 千円 収入内訳 売店事業 210 千円 損益 △ 584 千円

III 法人会計

法人

事業内容	実施時期	事業費
法人会計 ・法人事務局費、共通経費 ・職員出向経費 ・評議員会 ・理事会 ・監事会	通年	17,104 千円 財源内訳 市 7,418 千円 負担金 7,856 千円 雑収入 454 千円 一般 1,376 千円